

# カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CI06-20006	1.7 製品写真    上：基本筐体 下：ラック姿※ ※当該システム構成を表すものではありません
1.2	製品名称（日本語）	Hitachi Virtual Storage Platform G200 (型式：HT-40SC-CBSS1)	
	製品名称（英語）	Hitachi Virtual Storage Platform G200 (Model number：HT-40SC-CBSS1)	
1.3	製品型式	HT-40SC-CBSS1※ ※コントローラシャーシの型式、ドライブボックスを追加することによりドライブ搭載数を拡張可能	
1.4	製品の主要仕様・諸元	ミッドレンジディスクアレイ -コントローラシャーシ HT-40SC-CBSS1(2.5型ドライブを24台搭載可)  -ドライブボックス 下記を接続可能 HT-F40SC-DBS(2.5型ドライブを24台搭載可) 最大7台 または、 HT-F40SC-DBL(3.5型ドライブを12台搭載可) 最大7台 または、 HT-F40SC-DB60(3.5型ドライブを60台搭載可) 最大4台 または、 HT-F40SC-DBF(フラッシュモジュールドライブを12台搭載可) 最大7台  -想定使用年数 5年	
1.5	CFP算定単位	販売単位（台あたり）	
1.6	公開日	2020年3月24日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 日立製作所
	事業者名（英語）	Hitachi, Ltd.
2.2	電話番号	03-3258-1111

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	54,000	kg-CO <sub>2</sub> e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）		
	原材料調達段階	3,800	kg-CO <sub>2</sub> e
	生産段階	890	kg-CO <sub>2</sub> e
	流通段階	94	kg-CO <sub>2</sub> e
	使用・維持管理段階	49,000	kg-CO <sub>2</sub> e
	廃棄・リサイクル段階	66	kg-CO <sub>2</sub> e
数値表示、追加情報の内容			
数値表示	<記載内容>	20kg	<数値表示の単位>
			1TB・1年あたり (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)

3.3		<p>【対象製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform G200</li> <li>・CO<sub>2</sub>排出量の算定条件 コントローラシャーシ(HT-40SC-CBSS1)1台とドライブボックス(HT-F40SC-DBL)7台にドライブを最大数搭載した構成で算定。</li> </ul> <p>&lt;主な製品仕様&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-記憶容量*1 535 TB</li> <li>-想定使用年数*2 5年</li> <li>-ドライブの種類 磁気ディスクドライブ</li> <li>-ディスク回転数 7.2 krpm</li> <li>-ディスクサイズ,台数 2.5 inch-10 krpm、3.5 inch-7.2 krpm</li> <li>-ディスクサイズ,台数 2.5 inch-24台、3.5 inch-84台</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>排出量 <ul style="list-style-type: none"> <li>-製品あたり 54 t-CO<sub>2</sub></li> <li>-1TB・1年あたり 20 kg-CO<sub>2</sub>/TB 年</li> </ul> </li> </ul> <p>・測定条件：使用時電力は、省エネ法(2011年度規定)で定める特定の測定方法(最大構成、Idle状態)により測定しております。</p> <p>※1 本容量は1TByte=1,000,000,000,000Byteとして計算した値です。  ※2 想定使用年数は、法定耐用年数(電子計算機 その他のもの5年)として計算しております。</p>
3.4	備考	-

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	使用・維持管理段階における温室効果ガス排出量が最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります。

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	IT機器	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-CI-06
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01、国・地域間距離データベースを優先して利用しつつ、利用可能データ(国内)ver.1.04で補完した。			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-CI06-2006	6.4	検証合格日	2020年3月17日

7. プログラム情報					
7.1	プログラム名	カーボンフットプリント コミュニケーションプログラム	7.2	プログラムウェブサイト	<a href="http://www.cfp-japan.jp">http://www.cfp-japan.jp</a>
7.3	プログラム運営者	一般社団法人 サステナブル経営推進機構	7.4	プログラム運営者住所	東京都千代田区鍛冶町2-2-1

8	備考	-
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>